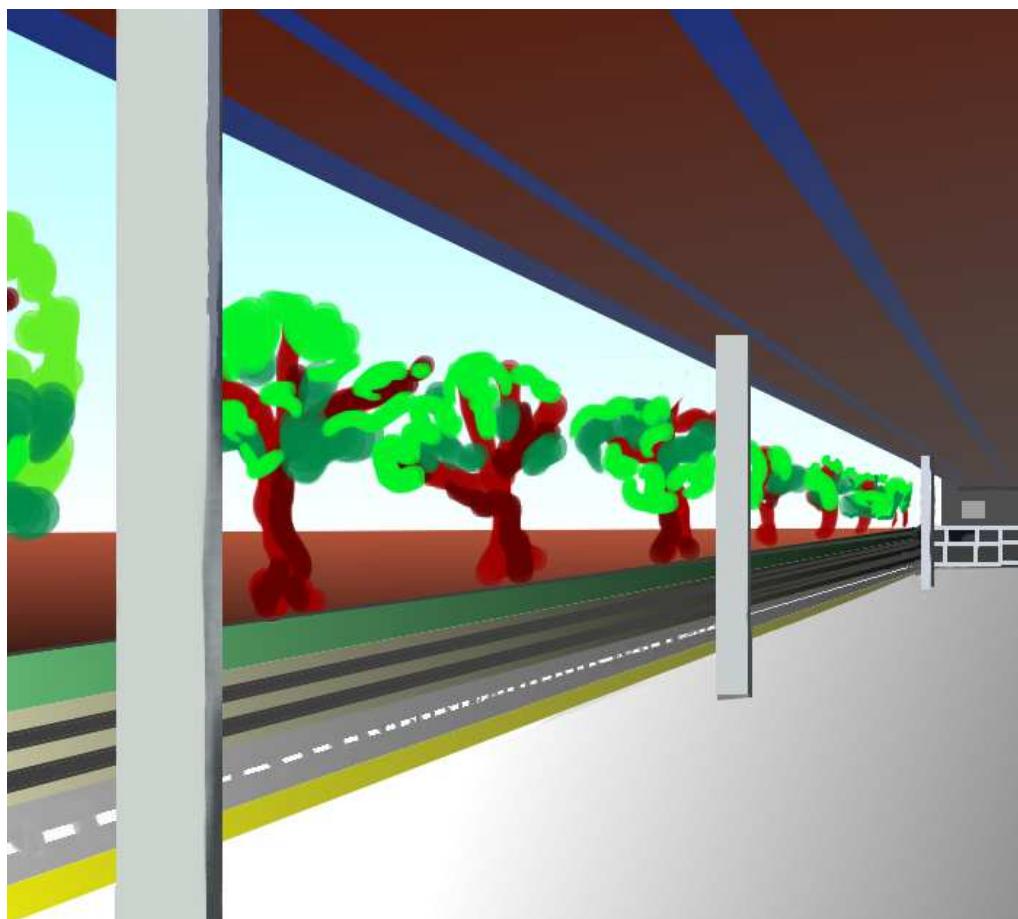


連作絵本 想像という現実～1

# 駅のホーム にて



東郷 潤

電車の駅のホームに、笑顔の人が立っています。



さあ、この人は、何を笑っているのでしょうか？

むろん、他人の心は読めません。なので  
彼が何を笑っているのか、ちょっと想  
像してみましょう。

…さあ、どんなことを想像しますか？  
どんな想像だって出来るんですよ。だ  
って、これは**ただの想像**ですもの。



たとえば、宝くじに当たって笑っているとか…。ね、想像するって、楽しいでしょう？

もちろん、嫌なことだって想像できる  
んですよ。

・・・たとえばそうですね、あの人が笑  
顔なのは、心の中で、あなたを馬鹿にし  
て笑っているんだって、想像してみま  
しょうか。



少し、腹が立ちましたか？ もう少し想像を続けてみましょう。

あの人は、心の中で、あなたを馬鹿にし  
て笑っている…



あの人は、心の中で、あなたを馬鹿にし  
て笑っている…



あの人は、心の中で、あなたを馬鹿にして笑っている…

xx \ \ / \ / \ / !







ね！ 人には、想像力という、  
とてつもなく大きな能力が  
あるんです。

あなたも、ただ想像するだけ  
で、誰かを殺すほど怒ることが  
出来るんですよ。

だから、想像と現実は、ちゃんと  
区別してくださいね！

現実



想像



## **あとがき　—絵本「駅のホームにて」**

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることができます。

**[www.j15.org](http://www.j15.org)**

**©Jun Togo 2010**